

連載

# 次代の農業を担う

～栃木県農業大学校生のチャレンジ～ ⑧

私の家はさつきの盆栽の育成、栽培をしており、祖父を中心にさつきの新品種開発にも取り組んでいます。

私は、将来農業を継ぎたいと決心、植物を育てるには「まずは知識だけでなく基本的なことができなければ意味がない」と考え、家族とも相談し、農業高校から栃木県農業大学校へと入学しました。大学では花きを専攻し、花木類の生育について学んでいます。

休みの日はなるべく家に帰り、仕事の手伝

いをしてつつ勉強に励んでいます。私は生ま

れた頃から今まで自分の家の事は分かっているつもりでした。しかし、家業というこ  
とだけではなく、祖父の仕事の奥深さを  
はつきりと知るようになったのは高校生の  
頃でした。

農業を学んでいくうちに自然と家業の事  
も勉強するようになった私は、祖父の偉大  
さをそこで知る事になりました。だからと  
いうわけでもありませんが、私にとって祖  
父は誇りです。

## 「目標は祖父、 さつきの新品種開発に挑む」

「そんな祖父の後を継ぎたい」。そう考えながら大学での勉強に励み、今では花木類での課題研究に真剣に取り組んでいます。

高校、大学に続いて思った事が一つだけ。それは、実家が農家である学生が少ないという事です。県内でさつきという植物すら知らない人がいた時は衝撃を受けました。花の美しさや癒やしや環境保全等植物の持つ魅力は無限大。一人でも多くの人にさつきだけではなく、植物の素晴らしさを伝えられるよう、日々努力したいと思えます。きっとその先に私が思い描く祖父のような人になりたいという目標が見えてくるのだと思います。

(園芸経営学科花き専攻

・豊田 倫代)





# 「栃木で果樹を学び将来に生かす」



私は高校一年の夏に果樹に興味を持ちました。実家は神奈川の非農家ですが、果樹が好きになり果樹の仕事をしたいと考えるようになりました。しかし、高校での果樹の授業は週に一回しかなく、高校だけの知識だけではだめと思い進学することにしました。

自分で進学先を調べたところ、行きたい学校が栃木県農業大学校でした。農業大学の授業では高校の時よりも専門的に学ぶことができ、また実習も多くあり、高校の

ときよりもたくさんの方のことを学び、体験できました。

私は農業大学校に来て特に良かったと思うことのひとつが一年の九月に実施した先進的経営体実習です。その実習で

私は、農業大学校の近くで梨を栽培している農家にお世話になりました。そのときには主に梨の収穫、選別を

していましたが、それだけではなく小学生の社会科見学のお手伝いをさせていただきました。農業大学校の実習よりもたくさんの梨を見て、たくさんの方の梨を運び大変でしたが自分の将来のためになると思えました。

今は梨をテーマにした卒業論文の調査に忙しいので

ですが、卒業後は、今まで学んだこと、見てきたことを生かして果樹の仕事をしたいと思っています。

（園芸経営学科果樹専攻  
・小原 香穂）



農業大学校ホームページ  
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g63/index.html>





果樹専攻学生

連載

農を学ぶ

栃木県農業高等学校④



ナシでは、幸水、豊水や本県で育成された品種「にっこり」「きらり」「おりひめ」や根圏制御栽培方法について学習しています。ブドウは、ハウス栽培、雨よけ栽培、露地栽培を行っており、巨峰やピオーネ、シャインマスカットなどの品種を栽培しています。

生産した農産物を加工する実習や販売（直売や農大祭など）を通して、生産するだけでなく、他に必要なことを学ぶことができます。

2年生は  
学生生活が  
あとわずか

となりました。果樹で学んだことや  
大学で学んだ知識や技術を生かせるように、そして安全、安心とちぎの農産物を生産できるように努力したいと思います。

園芸経営学科果樹専攻では、ナシ、ブドウ、リンゴ、ブルーベリーなどの木の性質、栽培技術、経営技術を講義と実習を通して学んでいます。今年度は、1年生3名、2年生3名の合計6名の学生が学んでいます。

（園芸経営学科果樹専攻

・大島春香）

園芸経営学科花き専攻

今年度の花き専攻の学生は、1年生5名、2年生が10名の計15名です。鉢物は、シクラメン・コチョウラン・ガーベラなど、切り花では、スプレーギク・カーネーション・ゆりなどの栽培を行っています。

1年生は、花き全般の栽培技術を座学と実習を通して、基本的な知識を学習します。2年生は、各々自分の目的やテーマに沿って選択した花で、栽培や研究をして卒業論文を作成します。花き専攻では一年間に二大イベントがあります。一つは毎年、母の日にカーネーション



福田知事夫妻と花き専攻学生

ンを知事と知事夫人に、直接贈呈しに行きます。もう一つは、11月に開催する学校祭です。シクラメンやパインジーなど栽培した花を販売し、大変好評を得ています。栽培や準備は大変ですが、喜んで頂けると、今年もがんばろうと思います。

（園芸経営学科花き専攻

・大橋未岬）